

●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

①相談支援及び情報提供

<p>目指す姿</p>	<p>○全てのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を手に入れることができ、その悩みや疑問が軽減している。 ○がん患者やその家族が活用しやすい相談支援体制の整備が進んでいる。</p>
<p>平成28年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画の必要な調査の検討 → 事務局で評価指標を整理、第2回部会で検討。 2. がん患者への支援推進事業（P2～3） → 保健所における患者サロン等の実施 → 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（6月29日、2月9日 実施） 3. がん患者への情報提供強化事業（P4～5） → イベントによるがん相談窓口等の周知 講演会「がんになって改めて知った、走ることの意味」開催 10月1日 於：郡山総合庁舎 → 相談支援センター啓発用リーフレットの作成（30,000部） 4. がん診療連携協議会の取組 → がん相談支援従事者研修（奈良がん診療連携協議会 相談支援分科会主催）の継続開催（11月6日実施） がん相談支援センター利用状況調査、相談支援の評価方法の検討（PDCAサイクル）、がん相談支援センターの啓発、相談体制のあり方について検討
<p>平成29年度 取組（案）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） ・拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（2回） 2. がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター啓発用リーフレットの増刷（10,000部） ・「がんネットなら」の情報更新：就労相談窓口、周術期の口腔ケア等の追加 ・「がんネットなら」の啓発用チラシの作成（10,000部） ・イベント（リフォーラム奈良）会場での情報発信 3. がん診療連携協議会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援従事者研修の継続 ・がん相談支援センター利用状況調査、相談支援の評価方法の検討、がん相談支援センターの啓発、相談体制のあり方について検討 ・地域相談支援フォーラムin近畿の開催（H30.2予定）
<p>開催日</p>	<p>平成28年10月17日(月)、平成29年2月15日(水)</p>
<p>議論内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターの周知方法（リーフレットの周知） ・相談員の体制整備について ・ピアサポーターの養成の必要性について

■がん患者サロン運営者会議

●目的 拠点病院や保健所等のがん患者サロン運営者を対象に、患者のニーズにあったより良いサロンの運営に向けて、サロン運営の好事例や課題を共有する場として、がん患者サロン運営者会議を実施する。

●対象者 拠点病院、保健所等のがん患者サロン運営者、担当者

●内容

日時・場所	内容・講師	参加者
平成28年6月29日（水） 15：00～17：00 市立奈良病院 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体のがん患者サロンの運営について ・がん患者サロン運営上の工夫・課題について情報交換 ・市立奈良病院のがん相談支援センター・緩和ケア病棟等施設見学 	16人
平成29年2月9日（木） 14：00～16：15 奈良県立医科大学 厳檀会館	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「信州大学医学部附属病院におけるひまわりサロンの取組」 講師：高橋まり子氏（信州大学医学部附属病院 臨床心理士） ・情報交換 ・奈良県立医科大学附属病院 がん相談支援センター施設見学 	22人

- 概要・よりよいがん患者サロンの運営を目指して、各拠点病院毎に運営者とピアサポーターが運営会議を行っている。
- ・それぞれの病院でのがん患者サロンの運営上の課題や好事例を共有する場として、今年度より拠点病院、保健所等のがん患者サロン担当者を対象に、がん患者サロン運営者会議を開催した。他院の好事例を学ぶことができ、共通の課題については、他県の先進事例を学ぶことによって、今後の方向性を検討することができた。
 - ・また、拠点病院の会議室で開催することで、施設見学をプログラムに組み込むことができ、各病院での施設や案内表示等の工夫点も学ぶ機会となった。



■平成28年度 がん患者への情報提供機能強化事業について

1. 背景・趣旨

がん診療連携拠点病院及び奈良県地域がん診療連携支援病院では、がん患者・家族のあらゆる相談を受け付ける「がん相談支援センター」を設置している。平成27年度に実施した「がん対策推進のためのならの患者体験アンケート調査」では、がん相談支援センターを利用された方の満足度は高いが、認知度は低いという結果であった。

がん患者や家族、また県民向けの講演会等を開催することで「がん」に関する関心を高めるとともにがん相談支援センター等の周知を図る。

また、講演会等の実施にあたっては、平成28年10月1日に開催される「リレー・フォー・ライフ・ジャパン奈良2016」と連携し実施する。



2. 事業内容

(1) 講演会（第1部）

講演会「がんになって改めて知った、走ることの意味」

講師：金 哲彦 氏（プロ・ランニングコーチ）

①日 時：平成28年10月1日（土）11:00～12:10

②場 所：奈良県郡山総合庁舎 2階 会議室

③参加者：48名

④講演内容

- ・大学時代からマラソン選手として活躍していた金さん。健康に絶対的な自信があり、大腸がん検診の「要精検」を何年も見過ごしていた。その結果、42歳で受けた「がん宣告」はステージ3。
- ・しかし、術後11ヶ月目のフルマラソンでは足を引きずりながらも完走。改めて走ることに喜びを感じ、「がんでもフルマラソン」さらに「がんでもサブ3（3時間以内で完走する事）」と新たなチャレンジを続けてこられた。
- ・がんが教えてくれたこととして、「病気かもしれないが、健康でもある。病気と健康は共存できる。」という言葉が印象的だった。



(2) 屋外イベント（第2部）

屋外イベント「金さんと一緒に楽しくジョギング！」

講師：金 哲彦 氏（プロ・ランニングコーチ）

①日 時：平成28年10月1日（土）13:00～14:00

②場 所：奈良県郡山総合庁舎 グランド

③参加者：52名

④内 容：

- ・金さんに身体をほぐす運動や走り方を丁寧に教えて頂き、実際にゆっくりとランニング。
- ・みなさん熱心に受講し、楽しいひとときを過ごされた。

3) 保健予防課ブース

「きいて！わたし（家族）のがん体験」

①日 時：平成28年10月1日（土）13:30～16:00

②場 所：奈良県郡山総合庁舎 グランド

③内 容：

- ・メッセージカードに、私（家族）のがん体験を記載していただき、「乗り越えました編」「しんどかった編」にカードを貼り、参加者にも閲覧していただく。



■がん相談支援センター啓発リーフレット「もしもあなたが、がんと告知されたら」

●目的 県では、がんに関する悩みや疑問に対応するために、県内のがん診療連携拠点病院等9ヶ所で「がん相談支援センター」を設置している。利用者は年々増加しており、満足度も高い結果が出ていますが、まだまだ知名度が低い状況であるため、がん相談支援センターのさらなる周知を図るため、リーフレットを作成し、啓発を図る。

●リーフレットの特徴

- がん患者さんや家族の声を反映！
 - ・聞き取り・アンケート調査を実施し、利用者の声やニーズを反映
- ソーシャルマーケティングの視点で作成！
 - ・目につくキャッチコピー「がん告知」
 - ・思わず手に取る「かわいくない」イラスト
 - ・電話して聞きいてみたくなる少ない情報量
 - ・費用対効果を重視、職員手作り、費用は印刷代のみ

●発行部数 3万部

●配布先

県内がん診療連携拠点病院(奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センター、天理よろづ相談所病院、近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院)、地域がん診療連携支援病院(国保中央病院、済生会中和病院、大和高田市立病院)、南奈良総合医療センター、県保健所、県政情報コーナー、各市町村保健センター

■「県民だより奈良」での広報

<2017年2月号>

- ・奈良県内各世帯配布 56万部発行。
- ・がん相談支援センター、がん患者サロン等の情報を発信。

②がん患者の就労を含めた社会的な問題

<p>目指す姿</p>	<p>○がん患者とその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。 ○事業者において、がんやがん患者に対する理解が進んでいる。</p>
<p>平成28年度 取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期計画のための必要な調査項目の検討 → 事務局で評価指標を整理、第2回部会で検討。 → 事業所のがん患者等への支援状況（参考指標）について、9月に職場環境調査を実施（担当：雇用政策課） 2. がん患者就労支援ネットワーク事業（P7） → 事業者を対象とした研修会の開催 奈良労働局、奈良産業保健総合支援センターと共催で研修会を開催。 （1月18日 実施） 3. 就労支援に関する情報提供の継続（P8） → がんネットなら、なら労働時報による情報提供 4. がん診療連携協議会の取組 → 全拠点病院での社会保険労務士による就労相談の実施 院内職員に対する研修会の実施 国との連携によるハローワーク相談員の就労相談の実施（医大） 5. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組 → 奈良労働局による長期療養者就職支援事業について 奈良産業保健総合支援センターによる治療と職業生活両立支援について
<p>平成29年度 取組（案）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. がん患者への就労相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・就労相談関係者情報交換会の開催（1回） 先進事例の紹介、現状・課題について情報共有 ・就労支援関係者に対する研修会の開催（1回）：協会けんぽ奈良支部との連携 ・がんネットなら、なら労働時報による情報提供 2. がん診療連携協議会の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・全拠点病院での社会保険労務士による就労相談の実施 ・院内職員に対する研修会の実施 ・国との連携によるハローワーク相談員の就労相談の実施（医大） 3. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良労働局による長期療養者就職支援事業について ・奈良産業保健総合支援センターによる治療と職業生活両立支援について
<p>開催日</p>	<p>平成28年10月17日(月)、平成29年2月15日(水)</p>
<p>議論内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国（奈良労働局等）の長期療養者の両立支援の進め方 ・がん患者が不利益を受けない正しい情報について ・就労相談と就職相談の周知方法（説明しなければ違いがわからない） ・事業の周知の工夫（患者目線ではなく、社員目線の周知方法等）

■がん患者の治療と就労両立支援セミナー

- 目的 がん患者の仕事と治療の両立は、がん対策の重要な柱の1つになっている。そこで、がん患者が治療と就労を両立できる環境を目指し、事業者ががんに関する正しい知識や相談窓口を知り、事業者の立場からがんを持つ従業員への支援を考えるきっかけづくりとして研修会を開催する。

*奈良労働局、奈良産業保健総合支援センターと共催実施

- 対象者 奈良県内の事業者、がん相談支援センター相談員等

●内 容

日時・場所	内 容 ・ 講 師	参加者
平成29年1月18日（水） 13:30～16:00 奈良商工会議所 中ホール	テーマ「がん患者の治療と就労の両立支援について考える」 ●報告 ①「奈良県のがん対策について」 奈良県医療政策部保健予防課 参事 戸毛 由樹子 ②「長期療養者等の就職支援について」 ハローワーク大和高田専門相談部門統括職業指導官 宮本 享典 ③「がん患者の治療就労両立支援の現場から」 奈良産業保健総合支援センター 両立支援促進員 河地 秀夫 ●講演 「最近のがん治療と就労の両立について」 講師 奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座教授 長谷川 正俊 氏 ●意見交換「事業所として困っていること、これから支援できること」	28人

- 概要 国や県のがん患者への就職・就労支援の取組について報告することで、事業者へ相談窓口を周知する機会となった。また、講演「最近のがん治療と就労の両立について」では、がん治療やがん医療の現状、治療と就労を両立している事例紹介もあり、がん患者の治療の具体的なイメージ化ができたと思われる。意見交換では、時間が足りないくらい熱心に議論されており、もっと他の企業の具体的な対策や就労者の生の意見が聞きたいとの声もあった。今後は、より企業が具体的に支援できるような事例提示やより多くの事業所が集まる機会に研修会を実施できるよう、内容、実施方法についても検討が必要である。



*県雇用労政課が年4回、県内1,200カ所の事業所向けに発行している情報誌

<平成29年12月号にがん関連記事を掲載>

(通巻358号)

なら労働時報

(3)平成28年12月1日

がん患者の治療と就労の両立支援について

がんは、生涯のうち2人に1人が罹る身近な病気です。奈良県では、年間約9,800人(2012年推計)が新たにがんと診断され、働く世代のがん患者がその約3割を占めており、がん患者の治療と就労の両立支援は大きな課題となっています。

こうした状況から、県では平成25年3月に策定した「第2期奈良県がん対策推進計画」において、県民や事業者に対して、がんやがん患者に対する理解を深める取り組みを進めています。

平成25年度に県内事業所を対象に実施した職場環境調査では、「仕事と治療を両立させるための支援の取組」として、「年次有給休暇の時間単位取得」は23.5%、「短時間勤務への変更」は33.0%、「体調を考慮した配置転換」は42.0%となっており、今後さらにはがん患者が治療と職業生活を両立できる環境整備が望まれます。

厚生労働省は、平成28年2月に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を公表し、事業場における適切な就業上の措置、治療に対する配慮、関係者の役割等を示すことにより、がんなど長期にわたり、反復・継続して治療が必要となる疾病を抱える労働者の治療と職業生活が両立できるような環境整備に取り組むことを事業者に対して求めています。

これらを踏まえて、県では、がん患者の治療と就労を両立できる環境を目指し、事業者ががんに関する正しい知識や相談支援窓口を知り、事業者の立場からがんを持つ労働者への支援を考えるきっかけづくりとして下記のとおりセミナーを開催します。この機会に是非ご参加ください。

※このセミナーは、奈良労働局、奈良産業保健総合支援センターとの共催事業です。



テーマ:「がん患者の治療と就労の両立支援について考える」

日時:平成29年1月18日(水) 13時半~16時

場所:奈良商工会議所 4階 中ホール

内容:講演「最近のがん治療と就労の両立について」

奈良県立医科大学 放射線腫瘍医学講座 長谷川正俊教授

情報提供

「長期療養者等の就職支援について」「がん患者の治療就労両立支援の現場から」

対象:奈良県内の事業者、経営首脳者等

申込み:事業場名、所在地、TEL、FAX、受講希望者(職・氏名)を記入し、セミナー前日まで

に奈良産業保健総合支援センターまでFAX(0742-25-3101)で申し込んでください。

問合せ:奈良県医療政策部保健予防課がん対策係 TEL:0742-27-8928

★「がん」のことなら… 